

いわき商業情報高等学校の新制服について

1 決定までの経緯

令和8年度に開校を迎える「いわき商業情報高等学校」の新たな制服づくりが本格的に動き出したのは、令和6年4月下旬のこと。統合元である四倉高校と平商業高校の両校に制服検討委員会が設置され、対面とオンラインを活用して活発な議論が交わされました。

その後、教職員を対象にアンケートが実施され、制服の基本方針が策定されました。機能性、意匠性、価格への配慮、そしてジェンダーフリーなど、現代の多様なニーズが取り入れられたほか、新たなスタートや地域を反映し、生徒が誇りを持って着用できるデザインをコンセプトとしました。11月には、これらの意見をもとに制服仕様の方向性をまとめ、業者によるプレゼンテーションを依頼。令和7年1月に複数業者の提案を受け、2月に制作を担当する業者が正式に決定されました。

また、教職員向けに制服案のディスプレイ展示と意見募集も行われ、現場の声を丁寧に反映させながら、最終案の検討が進められました。

こうして完成した制服案は、令和7年7月25日に実施された中学3年生を対象として実施された体験入学で初披露されました。

「いわき商業情報高等学校」の新制服は、これからの学校の姿勢を示す“顔”として、未来を担う生徒たちの歩みを支える装いとなることを目指しています。

2 デザインコンセプト

- ① 商業科と情報科を擁し、未来社会を切り拓く先進的思考能力を育成する学校として、将来のビジネスパーソンに相応しい、洗練されたビジネススーツスタイルを採用しました。
- ② 学校オリジナルのビジネススーツスタイルは、シンプルでありながら存在感のあるチェック柄（ウインドペン）を取り入れ、上品で現代的な印象を与えます。
- ③ ジャケットには校章入りのオリジナルエンブレムをあしらひ、誇りとアイデンティティを表現しました。
- ④ ブルーストライプのボタンダウンシャツを採用し、ネクタイなしでもスタイリッシュに着こなせるデザインとしました。
- ⑤ ボトムはジャケットと同じ生地を使用したスラックス・スカート、スカートはサイドプリーツスカート、近隣校にはないデザイン。スラックスは女子用も用意しました。
- ⑥ ネクタイとリボンは紺色を基調としたシックなストライプ柄を採用。さらにワンポイントとしてスクールイニシャルを入れ、細部にまでこだわりました。
- ⑦ 夏服にはブルーストライプシャツに加え、ポロシャツ（任意購入）、夏用ボトム、ハーフパンツ（任意購入）を用意。生徒が自由に選び、組み合わせることで主体的に考える力を育むデザインとしました。
- ⑧ ポロシャツやハーフパンツは、年々厳しさを増す夏の酷暑に対応する「涼アイテム」として位置づけています。

3 機能性

- ① ジャケットおよびボトムには、高い耐久性を備え、家庭での丸洗いが可能なウインドペン柄の素材を採用しました。
- ② シャツには「ストレッチ・吸汗・速乾・透け防止・UVカット・抗菌」の機能を備えた高性能素材を使用しています。
- ③ ポロシャツには「吸汗・速乾・透け防止・UVカット・抗菌」の機能を持つ素材を採用し、快適性と実用性を両立させています。

4 制服画像



冬服（ネクタイ、リボン着用時）



冬用（ネクタイ、リボンなし）



夏服（半袖シャツ、スラックス、スカート）



夏用（ポロシャツ、ハーフパンツ、スカート）